

1/8 福浦地区伝統 薬師如来奉納相撲大会

福浦地区伝統の「薬師如来奉納相撲大会」が、福浦公民館横の土俵で開催されました。

約160年前、福浦地区で大火事が発生し、わずか2戸を残してほぼすべての建物が焼失する大惨事に見舞われました。それ以降、地区にまつられる薬師様へ地域の平和と繁栄を願って奉納相撲が開催されるようになり、約160年続いているとされる伝統の行事です。

4年ぶりとなった今年の相撲大会には、福浦小学校・船越小学校・緑小学校の児童が参加したほか、相撲クラブや中高生、社会人に加えて今年の春から福浦小学校に入学する予定の園児2人も土俵に上がり盛大な開催となりました。

紅白対抗戦や三番勝ちなど、2時間にわたり熱い取組が繰り広げられ、大勢の観客から送られる声援で福浦地区が大いに盛り上がりました。



愛媛
CATV
動画



1/18 御荘中学校、町の歴史・文化を学ぶ校外学習実施

御荘中学校の1年生が、総合的な学習の時間を活用した「地域学習」の一環として「自然・環境」、「産業」、「歴史・文化」、「防災・町おこし」の4コースに分かれて校外学習を行いました。



愛媛
CATV
動画

このうち、「歴史・文化」コースを選択した生徒12人は、紫電改展示館、一本松郷土資料館、平城公民館（平城貝塚出土品展示室）、観自在寺の4カ所を訪問しました。

久良湾から引き揚げられた紫電改（日本に現存する唯一機）や、郷土資料館に保管されている農機具などの多数の民俗資料、縄文時代の遺跡である平城貝塚から発掘された土器や骨角器、人骨などの出土品、四国霊場八十八カ所の第40番札所である観自在寺など、町内の貴重な文化財について学んだ生徒たちは、各々が気になった点を質問したり、写真を撮ったりしながら、町の歴史・文化について理解を深めました。



1/25 特別国民体育大会出場者

宇野伊央里さん（高校3年生）が町長を訪問

令和5年10月13日（金）から15日（日）にかけて行われた特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」相撲競技・団体の部に愛媛県チームとして出場した選手の1人、県立宇和島東高校津島分校3年生の宇野伊央里さん（愛南町出身）が、町長を訪問しました。少年の部で県としては初となる優勝を勝ち取った大会のことを思い返しながら、宇野さんは「声を掛け合う仲間やこれまで応援してくれた人たちのおかげで、自分も今まで以上の力を出すことができました。これが団体で戦うということの強さだなと感じる大会でした」と話しました。

現在高校3年生の宇野さんは、立命館大学への進学が決まっています。夢である教員の道を志しながら、大学でも相撲は続けていきたいと、将来の抱負を力強く語りました。



愛媛
CATV
動画

